

# 確実な点検と着実な補修による安全・安心な高速道路を目指して ～インフラ長寿命化計画に基づく個別施設計画の公表～

2025年1月29日  
中日本高速道路株式会社  
定例記者会見 資料3

ONEXCO中日本インフラ長寿命化計画※<sup>1</sup>に基づき、『NEXCO中日本個別施設計画』※<sup>2</sup>を策定し公表いたしました。

○この計画は、当社が管理する高速道路の構造物のうち、法令で位置づけられた橋梁やトンネルなどの施設について、法令に基づく5年に一度の確実な点検の計画、施設の健全性の診断、診断の結果早期措置が必要な施設についての着実な措置を行うために、2016年度から点検・措置実績からローリング計画で毎年策定しているものです。

※<sup>1</sup> NEXCO中日本インフラ長寿命化計画とは、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、当社が管理する高速道路等の維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組みの方向性を明らかにした計画。2021年12月（令和3年）「に第2次インフラ長寿命化計画」として策定・公表しております。

※<sup>2</sup> これまで弊社HPに掲載することで公表

## ◆点検実績及び今後の計画

- ・2巡目の5年目である2023年度点検計画(1,552施設)に対して100%(1,552施設)が完了。
- ・5年間で行う対象8,847施設の点検は2023年度末までに100%が完了。
- ・3巡目(2024～2028年度)の点検は、2028年度までの完了を目標に2024、2025年度計画を策定。

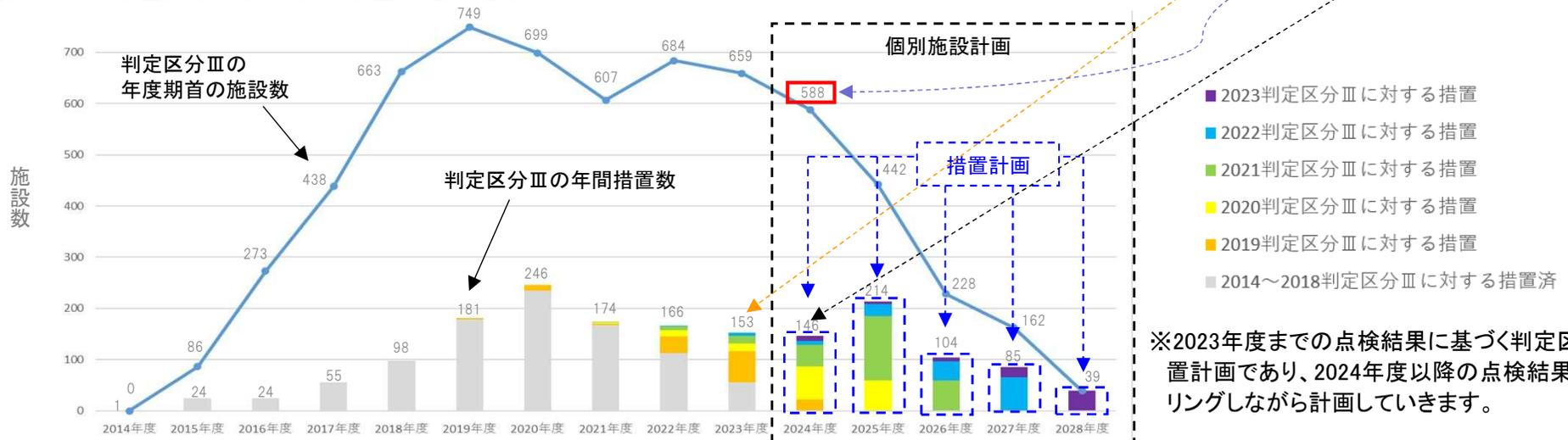
構造物名	単位	施設数	2巡目				2023年度		3巡目	
			2019年度 点検実績	2020年度 点検実績	2021年度 点検実績	2022年度 点検実績	点検計画	点検実績	2024年度 点検計画	2025年度 点検計画
橋梁	橋	5,859	1,352	1,098	1,166	1,174	1,069	1,069	1,365	1,104
トンネル	本	435	86	86	97	83	83	83	78	91
シェッド	箇所	11	1	0	4	5	1	1	1	1
大型カルバート	箇所	966	160	214	239	228	125	125	175	210
横断歩道橋	橋	12	2	1	3	3	3	3	2	1
門型標識等	基	1,564	309	365	322	297	271	271	256	317
合計	施設	8,847	1,910	1,764	1,831	1,790	1,552	1,552	1,877	1,724
進捗率			22%	42%	62%	82%	100%		20%	39%

## ◆判定区分Ⅲ(早期措置段階)の措置実績及び今後の計画

- ・2023年度措置計画(134施設)に対して一部前倒しの措置を行い114%(153施設)が完了。その結果、2018年以前にⅢ判定された施設の措置はすべて完了。
- ・2024年度期首で未措置の施設(計588施設)は、それぞれの施設の措置期限までに措置を完了する計画。(点検から5年以内に措置を完了)

構造物名	単位	2023年度 措置		2024年度 期首数量	措置計画				
		計画	実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
橋梁	橋	125	140	512	130	192	87	68	35
トンネル	本	5	6	47	6	9	14	14	4
シェッド	箇所	0	0	4	0	3	0	1	0
大型カルバート	箇所	2	4	13	8	3	2	0	0
横断歩道橋	橋	0	0	0	0	0	0	0	0
門型標識等	基	2	3	12	2	7	1	2	0
合計	施設	134	153	588	146	214	104	85	39

## ◆判定区分Ⅲの措置実績及び今後の措置予定の推移



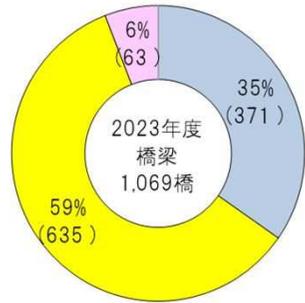
# (参考) 2023年度の点検結果および修繕等措置の事例

・2023年度の点検結果では、修繕等の措置が必要な判定区分Ⅲは、橋梁で63橋、トンネルで16本あり、建設後30年以上経過し施設で割合が増加する傾向にある。

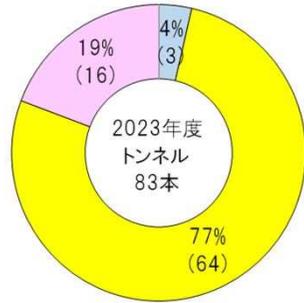
## 2023年度の点検結果

### ◆判定区分別

#### ・橋梁



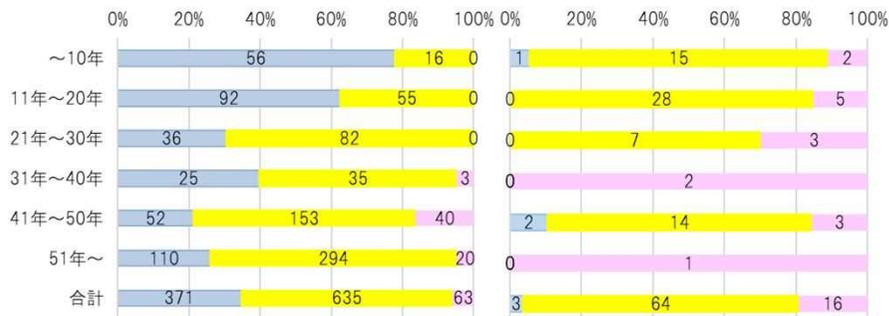
#### ・トンネル



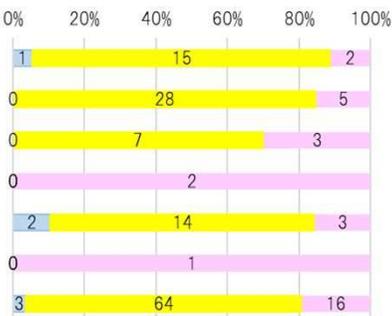
凡例: Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ

### ◆建設経過年度別

#### ・橋梁



#### ・トンネル



凡例: Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ

## 修繕等措置の事例

### ◆橋梁下部エコンクリートの劣化

○判定区分Ⅲの状況  
橋梁下部エコンクリートの材質劣化(浮き、はく離)(2018年度点検)



【補修前】

○補修の状況  
劣化箇所を除去し断面修復材により補修(2023年度補修)



【補修後】

### ◆鋼桁橋の端部の腐食

○判定区分Ⅲの状況  
漏水による鋼橋端部の鋼材の断面減少を伴った損傷(2022年度点検)



【補修前】

○補修の状況  
断面減少部を当て板により補修、及び著しい錆の範囲を塗装により補修(2023年度補修)



【補修後】